

どないなっとなねん!?! まったくやる気なしや!!

12月15日、2023年度職場改善諸要求（運輸所関係）に関する申し入れについて、会社と業務委員会を開催しました。

しかし、会社は昨年と同様に改善を行う意志がまったくなく、誠意のない姿勢に組合は抗議しました。

特徴的には、運転士から上がっている毎年申し入れている要求で、東京第二車両所の着発25番線において、通路線と接してフェンスがあり、極端に狭く入り難く、危険なため手歯止めの位置をNo.4位からNo.3位に変更するよう要求しても「規定されており、現行の通りとする」と、現場の多くの運転士の切実な声を無視する回答でした。

安全最優先どこ吹く風!?!

さらに、責任事故等が起こりうる危険箇所の改善要求について・・・

「各駅、各車両所の停止位置目標・一旦停止を見やすくするためLED化すること。特に大阪車両所（大仕両）着発14番～16番の東京方停止位置目標が見えにくいので改善すること及び各車両所の庫の一旦停止標識が汚れていて見えにくいので改善すること」の要求に対して・・・会社は「駅、車両所の停止位置目標及び一旦停止は、箇所ごとに標板の劣化状態等を鑑み、必要な修繕・取替を行っている。」と回答しましたが、現段階においても何ら改善された形跡は見られず、支社は現場に言ってくれと責任転嫁!

現場では、これまで上記要求を具体的に乗務報告書に記載し提出したり、口頭で指導科に申告しているにもかかわらず、全く放置されたままの実態であることを確認しました。

要するに、支社と現場の意志疎通がまったくおろそかで、機能していない事実だけが明らかになったということです。

備品の故障に対する交換・修繕はそのまま放置!!

今回の要求とは別に、大阪の男性浴室設置の衣類乾燥機1台（2台の内）が壊れ、申告されたのが11月19日、いまだに修繕されず、故障中の紙が貼られたまま放置されています。再度、大阪第一運輸所総務科が担当していることから12月13日、辻井総務科長に直訴も、変わらず、ついにこのままでは越年してしまうでしょう!?

皆さんの家庭で電気店に修繕依頼したら遅くとも数日で対応してくれますね!

今回だけでなく、何年もこんな実態が続き、繰り返されていて、組合は、再三再四業務委員会等で会社に苦言を呈してきました。

ルールを守れ、安全最優先、安心行動・・・と会社は社員に対して言っています。

会社こそ姿勢を正すべきだ!!